

第 23 回通常総会

2017 年 3 月 14 日（火）

一般社団法人 言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 23 回通常総会次第

日時 2017 年 3 月 14 日（火） 12 時 40 分～13 時 40 分

会場 筑波大学 筑波キャンパス 春日エリア 7A 棟 1 階 104 講義室

総会次第

第 1 号報告 2016 年度事業報告

第 1 号議案 2016 年度決算報告

第 2 号報告 2016 年度監査報告

第 3 号報告 2017 年度事業計画

第 4 号報告 2017 年度予算案

第 5 号報告 2017 年度代議員構成

以上

第 1 号報告

2016 年度事業報告

1. 概要

言語処理学会の主要活動として、論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました。「自然言語処理」に関しては、特集号を含め 5 号を発行しました。第 22 回年次大会は、2016 年 3 月 7 日(月)から 11 日(金)まで、東北大学で開催しました。The 26th International Conference on Computational Linguistics (COLING 2016)を International Committee on Computational Linguistics (ICCL)と共催で 12 月 11 日(日)から 16 日(金)まで、大阪国際会議場で開催しました。

2. 会員現況

正会員	799 名 (+21)
学生会員	78 名 (-19)
賛助会員	16 組織 (+5), 17 口 (+5)
特殊購読会員	38 組織 (0), 46 口 (+1)

(2016 年 12 月 31 日現在, 増減は 2015 年 12 月 31 日との比較)

なお、定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき、会費を 1 年以上滞納した会員 70 名(正会員 51 名, 学生会員 19 名)については、その会員資格を喪失したものと扱います。

3. 会誌の発行

- 23 巻 1 号(2016 年 1 月発行, 通巻 104 号)
巻頭言, 論文 5 編, 会告
- 23 巻 2 号(2016 年 3 月発行, 通巻 105 号)
巻頭言, 論文 2 編, 会告
- 23 巻 3 号(2016 年 6 月発行, 通巻 106 号)
巻頭言, 論文 3 編, 会告
- 23 巻 4 号(2016 年 9 月発行, 通巻 107 号)
巻頭言, 論文 2 編, 会告
- 23 巻 5 号(2016 年 12 月発行, 通巻 108 号)
巻頭言, 論文 5 編, 会告

4. 第 22 回年次大会の開催

- ◇ 開催日: 2016 年 3 月 7 日(月)～3 月 11 日(金)
- ◇ 会場: 東北大学(宮城県仙台市)
- ◇ プログラム

[チュートリアル講演](4件) 3月7日

- 東中 竜一郎 氏(日本電信電話), 船越 孝太郎 氏(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)
「対話システムの理論と実践」
- 村脇 有吾 氏(京都大学)
「言語進化史の統計的研究」
- 篠田 浩一 氏, 井上 中順 氏(東京工業大学)
「音声・画像・映像処理における深層学習」
- 浅原 正幸 氏(国立国語研究所)
「言語研究のための言語資源整備～凸最適化からの脱却～」

[招待講演]

- 石川 ベンジャミン 光一 氏(国立がん研究センター)(3月8日)
「医療分野におけるビッグデータ活用の実態と課題」
- 飯間 浩明 氏(国語辞典編纂者)(3月9日)
「国語辞典編纂者の知らない日本語」

[招待論文講演] 3月9日

能地 宏 氏(国立情報学研究所)

「Left-corner Parsing for Dependency Grammar」

田村 晃裕 氏(情報通信研究機構)代理発表 隅田 英一郎 氏(情報通信研究機構)

「リカレントニューラルネットワークによる単語アラインメント」

菊池 悠太 氏(東京工業大学)

「入れ子依存木の刈り込みによる単一文書要約手法」

[一般発表 口頭発表] 3月8日～10日 発表件数 133 件

[一般発表 ポスター発表] 3月8日～10日 発表件数 149 件

[一般発表 テーマセッション発表] 発表件数 26 件

「文理・産学を越えた翻訳関連研究」

「言語教育と言語処理の接点」

「対話・言語コミュニケーションにおける主観性とその評価」

[併設ワークショップ] 3月 11 日

「言語処理の応用」

「論文に書かない(書けない)自然言語処理」

学会の一般社団法人化を受けて、総会がプログラムから姿を消しました。その他は、オープニング・クロージングや招待論文講演を含むこれまでの形式を踏襲しています。ふたつのワークショップを並行して開催し、開催期間は5日間となりました。

◇ 年次大会優秀賞・若手奨励賞

大会前に選考を行い、大会期間中に表彰する形式を踏襲しています。全ての一般発表論文(308件)を対象に審査を行い、大会賞を選定しました。選考は、全論文に対する計119名の選考委員による1次選考と、そこで絞り込まれた優秀賞候補14件、若手奨励賞候補17件(うち5件が優秀賞候補を兼ねる)に対する7名の最終選考委員による最終選考の二段階で行いました。その結果、以下の通り最優秀賞2件、優秀賞3件、若手奨励賞5件を授賞することとしました。

第22回言語処理学会年次大会優秀賞

■最優秀賞 (2件)

B3-1 単語分散表現獲得法の縮約モデリング

○鈴木 潤, 永田 昌明 (NTT)

A6-4 分散表現による文脈情報を用いた選択選好モデル

○大野雅之, 井之上直也, 松林優一郎, 岡崎直観, 乾健太郎 (東北大)

■優秀賞 (3件)

A7-5 談話内における局所文脈の動的分散表現

○小林颯介, 田然, 岡崎直観, 乾健太郎 (東北大)

P20-3 現代日本語における節の分類体系について

○丸山岳彦 (国語研), 佐藤理史, 夏目和子 (名大)

A4-4 複数の事前並べ替え候補を用いた句に基づく統計的機械翻訳

○小田悠介 (NAIST), 工藤拓, 中川哲治, 渡辺太郎 (グーグル)

第22回言語処理学会年次大会若手奨励賞 (5件)

A5-4 Factorization Machines を用いた未知の固有表現分類

平田亜衣 (首都大)

A4-2 句構造へのアテンションに基づくニューラル機械翻訳モデル

江里口瑛子 (東大)

B3-4 上位語・下位語の射影関係とそのクラスタの同時学習

山根丈亮 (豊田工大)

E5-2 翻訳教育での利用を意識した翻訳エラー分類体系の再構築

豊島知穂 (関外大)

E1-1 分散表現を用いたニュース記事の重複排除

大倉俊平 (ヤフー)

◇ まとめ

大会では合計 308 件の研究発表が行われました。ポスター発表の件数が過去最多となったことが特筆すべき点です。参加者は 792 名と、昨年の 816 名には及ばなかったものの、歴代2番となり、各セッションとも活気にあふれる大会となりました。

今大会は会場に恵まれ、それぞれにゆとりのある各セッションの会場を、繋がった建物の中にうまく収め、休憩室とあわせて設置されたスポンサー様の展示スペースも加わって、全体を勝手のよいものに構成できました。

会計的には、昨年に続く多数の参加者に支えられ、一部の参加費を見直したこともあって参加費収入の増加があり、多数のスポンサー様からのご支援、協賛と助成をいただき、収入は大きく増加しました。支出は、東北大学大学院情報科学研究科との共催により本会議会場を無料で使用させていただいたこと等で、抑えることができました。多くの皆様のご支援に心より感謝します。今大会より事前申し込みの参加費の支払いにクレジット決済を加え、多くの参加者にご利用いただきました。

今後も、学会会員にとってより有効な情報交換の場となるように、必要な改善をおこない、年次大会をますます発展させていきたいと考えています。

5. ニュースレターの発行

2016 年には、ニュースレター Vol.23 No.1 - No.3 の 3 号を発行し、学会運営、大会案内、大会優秀賞、論文賞、COLING2016 などについて会員の皆さまへの情報提供を行いました。これらのバックナンバーは、学会ホームページでも公開しております。

6. 理事会の開催

計 7 回の理事会を開催し、入退会会員の承認、事業計画、予算、論文賞選考、学会法人化、年次大会の方針、年次大会優秀賞、関連学会等への協賛等について審議し決定しました。また、会費納入や学会誌作成、ニュースレター発行等の学会運営についても議論しました。

理事会開催:

第 107 回 (2016 年 1 月 29 日, 国立情報学研究所)

第 108 回 (2016 年 3 月 7 日, 東北大学)

第 109 回 (2016 年 3 月 8 日, 東北大学)

第 110 回 (2016 年 5 月 31 日, 国立情報学研究所)

第 111 回 (2016 年 7 月 12 日, 国立情報学研究所)

第 112 回 (2016 年 9 月 20 日, 国立情報学研究所)

第 113 回 (2016 年 11 月 15 日, 国立情報学研究所)

7. 編集委員会

◇編集委員会の会議

2016 年は、実際に顔を合わせる編集委員会を 2 回開催したほか、随時、メール審議の形式で編集委員会を開催し、採否決定の一層の迅速化に努めました。

編集委員会開催:

第 94 回 (2016 年 3 月 8 日, 東北大学)

第 95 回 (2016 年 9 月 14 日, 国立情報学研究所)

◇英文校正サービスとコーパス化

2015 年度の掲載論文について、6 件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに 1 件の英文論文の本文の英文校正を実施しました。また、多数の著者の協力を得て、校正前の英文と校正後の英文を「言語処理学会英文校正コーパス」として管理し、会員の求めに応じて提供しています。

◇英文論文アーカイブ(IMT)への論文掲載

情報関連学会による国際的な電子ジャーナルとしての IMT (Information and Media Technologies) の第 11 巻に英語論文 5 件を提供しました。

◇2016 年度論文賞の選考

2016 年に出版された自然言語処理 23 巻 1 号から 5 号に掲載された論文 17 編から相応しい論文を推薦す

ることを目標として、乾健太郎副編集長が論文賞一次選考委員長、松吉俊編集委員が論文賞最終選考委員長を務め、それぞれ編集委員を選考委員とする選考委員会(一次選考は19名、最終選考は7名)を編成して選考を実施し、下記の論文を選定しました。

(論文賞)

タイトル:「自動要約における誤り分析の枠組み」

著者:西川 仁

発行号頁:Vol.23 No.1, pp.3-36

(論文賞)

タイトル:「ロボットは東大に入れるか」プロジェクト:代ゼミセンター模試タスクにおけるエラーの分析」

著者:松崎 拓也, 横野 光, 宮尾 祐介, 川添 愛, 狩野 芳伸, 加納 隼人, 佐藤 理史, 東中 竜一郎, 杉山 弘晃, 磯崎 秀樹, 菊井 玄一郎, 堂坂 浩二, 平 博順, 南 泰浩, 新井 紀子

発行号頁:Vol.23 No.1, pp.119-159

(最優秀論文賞)

該当なし

◇自然言語処理の電子化

創刊号から2008年度までの本誌の全件が、JSTの電子アーカイブ事業により無償で電子化されJSTのサイトJournal@rchiveで公開されています。また、2009年度以降の本誌も、上記Journal@rchiveと一体的に運営されているJ-STAGEで公開されており、新規に出版されたものは三ヶ月後に電子化され公開されます。すなわち、現在、創刊号から、紙媒体で出版後三ヶ月経過した号まで、常時、電子的に閲覧可能となっています。

◇論文掲載数および投稿数

2016年は、通常号4号の発行に加えて、「エラー分析」の二分冊目(Vol.23 No.1)を出版し、総計17編の論文を刊行しました。「自然言語処理」への2016年の通常論文投稿数は、昨年2015年の11編より大幅に増加し、2014年と同数の24編に盛り返しました。

8. 協賛、後援

以下の会議を協賛、後援いたしました。

- (1) 第7回産業日本語研究会・シンポジウム(後援)
丸ビルホール 2016年2月29日
- (2) 情報処理学会第77回全国大会イベント企画「2020年に向けた音声翻訳の研究開発」(協賛)
慶應義塾大学 2016年3月12日
- (3) NTCIR-12(協賛)
学術総合センター 2016年6月7~10日
- (4) 第31回国際心理学会議(協賛)
パシフィコ横浜 2016年7月24~29日
- (5) 東京言語研究所開設50周年記念セミナー(協賛)
国立オリンピック記念青少年センター 2016年9月3~4日
- (6) 人工知能学会 合同研究会2016(協賛)
慶應義塾大学 2016年11月9日~12日
- (7) ロボットは東大に入れるか 2016 成果報告会(後援)
一橋大学 2016年11月14日
- (8) 第13回ロボット聴覚システムHARK講習会(協賛)
早稲田大学 2016年12月6日
- (9) 第3回HARKハッカソン(協賛)
早稲田大学 2016年12月7日

また、若手研究者への支援活動として、2016年8月28日(日)から30日(火)にホテルシーモア(和歌山県西牟婁郡白浜町)で開催された「NLP 若手の会第11回シンポジウム」のゴールドスポンサーとなりました。

9. COLING 2016 の開催

The 26th International Conference on Computational Linguistics (COLING 2016)を International Committee on Computational Linguistics (ICCL)と共催で 12 月 11 日(日)から 16 日(金)まで、大阪国際会議場で開催しました。日程概要は以下のとおりです。

11～12 日:チュートリアルとワークショップ

13～16 日:本会議

本会議への論文投稿は 1,046 本 (前回 691 本)で、このうち 337 本 (前回 217 本)が採択され口頭発表 4 セッション (135 本)、ポスター発表 1 セッション (202 本)の 5 並列セッションで発表されました。デモセッションへは 85 本の投稿があり、このうち 65 本を採択しました。また、学生支援活動として、公募・審査の上、優秀な論文を発表した学生 20 名の参加費を無料化しました。顕彰関係では AFNLP と共同で 2 件の優秀論文賞を授与しました。

会議の収支バランスは、参加者の増加、スポンサー収入の増加のおかげで約 1,400 万円の黒字となりました。この剰余金は次回、米国 Santa Fe で開催予定の COLING 2018 への学生会員の支援など、今後の言語処理学会の活動に有意義に利用していきたいと考えています。

10. その他

言語資源協会と、言語資源に関して連携・協力していくことを目的とした協定を締結しました。次回年次大会より、優れた言語資源を作成したと認められる論文に対して「言語資源賞」を授与する予定です。

第1号議案

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2016年 1月 1日から2016年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[7,130,000]	[7,604,000]	[-474,000]	
正会員受取会費	(5,800,000)	(6,024,000)	(-224,000)	
正会員当年度	5,800,000	5,904,000	-104,000	@8,000円×738名
正会員過年度	0	120,000	-120,000	@8,000円×15名
学生会員受取会費	(280,000)	(270,000)	(10,000)	
学生会員当年度	280,000	264,000	16,000	@4,000円×66名
学生会員過年度	0	6,000	-6,000	@4,000円×1名、@2,000円×1名
賛助会員受取会費	(600,000)	(850,000)	(-250,000)	
賛助会員当年度	600,000	850,000	-250,000	1口50,000円×17口
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(450,000)	(460,000)	(-10,000)	
特殊購読会員当年度	450,000	460,000	-10,000	@10,000×46口
事業収益	[9,959,000]	[14,832,321]	[-4,873,321]	
学術研究事業(年次大会)	(7,734,000)	(12,651,321)	(-4,917,321)	
年次大会参加費	4,030,000	5,170,000	-1,140,000	
年次大会懇親会費	924,000	1,312,000	-388,000	
年次大会協賛・広告	2,600,000	5,909,321	-3,309,321	
年次大会助成・補助	180,000	260,000	-80,000	
年次大会収益	0	0	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,225,000)	(2,181,000)	(44,000)	
論文誌広告料	100,000	155,000	-55,000	
別刷代	2,125,000	2,020,000	105,000	22巻4号～23巻5号
雑誌頒布収益	0	6,000	-6,000	バックナンバー売上
受取補助金等	[0]	[4,950,000]	[-4,950,000]	
国際会議補助金	0	4,950,000	-4,950,000	
受取寄付金	[0]	[14,000,000]	[-14,000,000]	
国際会議寄付金	0	14,000,000	-14,000,000	
雑収益	[3,000]	[7,268]	[-4,268]	
受取利息	3,000	1,694	1,306	
雑収益	0	5,574	-5,574	印税
経常収益計	17,092,000	41,393,589	-24,301,589	
(2) 経常費用				
事業費	[17,006,636]	[19,085,178]	[-2,078,542]	
年次大会開催費	(6,696,636)	(8,338,424)	(-1,641,788)	
年次大会運営サポート費	1,249,538	1,277,456	-27,918	NLP2016(後期分)、NLP2017(前期分)
受付代行費	1,032,298	1,133,419	-101,121	参加登録システム等
資料作成費(印刷費)	400,000	409,871	-9,871	プログラム冊子
コンファレンスバック代	170,000	187,596	-17,596	
プログラム委員会費	248,000	264,064	-16,064	旅費、選考会議等
年次大会会場費	908,300	1,501,776	-593,476	施設利用、看板等
年次大会人件費	800,000	732,000	68,000	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	300,000	422,752	-122,752	
論文賞招待旅費	100,000	45,776	54,224	
代議員会等会議費	140,000	111,900	28,100	弁当代、スポンサー交流会
表彰関係費	200,000	221,429	-21,429	賞状、副賞
年次大会懇親会費	1,088,500	2,003,845	-915,345	
実施委員会費	50,000	0	50,000	
年次大会雑費	10,000	26,540	-16,540	
普及啓発事業	(10,310,000)	(10,746,754)	(-436,754)	
論文誌印刷費	2,500,000	2,263,095	236,905	23巻1号～23巻5号
論文誌通信運搬費	700,000	676,669	23,331	23巻1号～23巻5号
論文誌編集費	1,500,000	1,264,680	235,320	23巻1号～23巻5号
論文誌電子化費用	110,000	90,180	19,820	23巻1号～23巻5号
編集委員会費	390,000	283,722	106,278	会合費、旅費、他
編集事務局費	400,000	514,779	-114,779	編集事務局給与・旅費(2015.12～2016.11)
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	207,111	2,889	
論文誌活性化支援	200,000	54,588	145,412	
表彰関係費	150,000	200,050	-50,050	論文賞の賞状、副賞、COLING2016論文賞賞金
若手研究者等の支援	100,000	100,000	0	
国際会議開催費	4,000,000	4,983,240	-983,240	
普及啓発事業雑費	50,000	108,640	-58,640	IMT分担金、NTCIR協賛
管理費	[3,547,700]	[3,290,615]	[257,085]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	0	0	0	
総務事務局費	(100,000)	(86,299)	(13,701)	総務事務局給与・旅費(2015.12～2016.11)
業務委託費	(2,655,200)	(2,662,132)	(-6,932)	
学会事務委託費	2,170,000	2,170,800	-800	中西印刷(株)委託費
税理士報酬	400,000	399,600	400	顧問料、年末法定調書類、決算書類の作成業務
司法書士報酬	85,200	91,732	-6,532	役員変更登記
会費集金費	(400,000)	(359,850)	(40,150)	封筒代含む
通信運搬費	(100,000)	(45,127)	(54,873)	
租税公課	(52,500)	(52,500)	(0)	法人市民税・住民税(2015.4～2015.12)
振込手数料	(40,000)	(33,760)	(6,240)	
HP関連経費	(100,000)	(41,932)	(58,068)	
雑費	(100,000)	(9,015)	(90,985)	会長印作成等
経常費用計	20,554,336	22,375,793	-1,821,457	
当期経常収支差額	-3,462,336	19,017,796	-22,480,132	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-3,462,336	19,017,796	-22,480,132	
一般正味財産期首残高	19,219,606	19,219,606	0	
一般正味財産期末残高	15,757,270	38,237,402	-22,480,132	

貸借対照表

2016年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	28,974,016
未収金	14,000,000
前払金	154,206
資産合計	43,128,222
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	746,820
前受金	50,000
前受会費	4,094,000
負債合計	4,890,820
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	38,237,402
正味財産合計	38,237,402
負債及び正味財産合計	43,128,222

財産目録

2016年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管 銀行預金 ゆうちょ振替口座 みずほ銀行 ゆうちょ総合口座	運転資金として	66,652 28,907,364 11,369,732 10,000,984 7,536,648
未収金 前払金			14,000,000 154,206
資産合計			43,128,222
(流動負債)			
未払金 前受金 前受会費 前受正会員 前受学生会員 前受賛助会費			746,820 50,000 4,094,000 3,456,000 88,000 550,000
負債合計			4,890,820
正味財産			38,237,402

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2016年 1月 1日から2016年12月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	備考
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[7,604,000]	
正会員受取会費	(6,024,000)	
正会員当年度	5,904,000	@8,000円×738名
正会員過年度	120,000	@8,000円×15名
学生会員受取会費	(270,000)	
学生会員当年度	264,000	@4,000円×66名
学生会員過年度	6,000	@4,000円×1名、@2,000円×1名
賛助会員受取会費	(850,000)	
賛助会員当年度	850,000	1口50,000円×17口
賛助会員過年度	0	
特殊購読会員受取会費	(460,000)	
	460,000	@10,000×46口
事業収益	[14,832,321]	
学術研究事業(年次大会)	(12,651,321)	
年次大会参加費	5,170,000	
年次大会懇親会費	1,312,000	
年次大会協賛・広告	5,909,321	
年次大会助成・補助	260,000	
年次大会収益	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,181,000)	
論文誌広告料	155,000	
別刷代	2,020,000	22巻4号～23巻5号
雑誌頒布収益	6,000	バックナンバー売上
受取補助金等	[4,950,000]	
国際会議補助金	4,950,000	
受取寄付金	[14,000,000]	
国際会議寄付金	14,000,000	
雑収益	[7,268]	
受取利息	1,694	
雑収益	5,574	印税
経常収益計	41,393,589	
(2) 経常費用		
事業費	[19,085,178]	
年次大会開催費	(8,338,424)	
年次大会運営サポート費	1,277,456	NLP2016(後期分)、NLP2017(前期分)
受付代行費	1,133,419	参加登録システム等
資料作成費(印刷費)	409,871	プログラム冊子
コンファレンスバック代	187,596	
プログラム委員会費	264,064	旅費、選考会議等
年次大会会場費	1,501,776	施設利用、看板等
年次大会人件費	732,000	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	422,752	
論文賞招待旅費	45,776	
代議員会等会議費	111,900	弁当代、スポンサー交流会
表彰関係費	221,429	賞状、副賞
年次大会懇親会費	2,003,845	
実施委員会費	0	
年次大会雑費	26,540	
普及啓発事業	(10,746,754)	
論文誌印刷費	2,263,095	23巻1号～23巻5号
論文誌通信運搬費	676,669	23巻1号～23巻5号
論文誌編集費	1,264,680	23巻1号～23巻5号
論文誌電子化費用	90,180	23巻1号～23巻5号
編集委員会費	283,722	会合費、旅費、他
編集事務局費	514,779	編集事務局給与・旅費(2015.12～2016.11)
特殊購読・雑誌頒布経費	207,111	
論文誌活性化支援	54,588	
表彰関係費	200,050	論文賞の賞状、副賞、COLING2016論文賞賞金

(単位:円)

科 目	決算額	備考
若手研究者等の支援	100,000	
国際会議開催費	4,983,240	
普及啓発事業雑費	108,640	IMT分担金、NTCIR協賛
管理費	[3,290,615]	
法人設立費用	0	
代議員選挙費用	0	
総務事務局費	(86,299)	総務事務局給与・旅費 (2015.12~2016.11)
業務委託費	(2,662,132)	
学会事務委託費	2,170,800	中西印刷(株)委託費
税理士報酬	399,600	顧問料、年末法定調書類、決算書類の作成業務
司法書士報酬	91,732	役員変更登記
会費集金費	(359,850)	封筒代含む
通信運搬費	(45,127)	
租税公課	(52,500)	法人市民税・住民税 (2015.4~2015.12)
振込手数料	(33,760)	
HP関連経費	(41,932)	
雑費	(9,015)	会長印作成等
経常費用計	22,375,793	
当期経常収支差額	19,017,796	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	19,017,796	
一般正味財産期首残高	19,219,606	
一般正味財産期末残高	38,237,402	

●上記の通り報告いたします。

一般社団法人言語処理学会財務理事

永田 昌明



一般社団法人言語処理学会財務理事

落谷 亮



●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

一般社団法人言語処理学会 監事

赤 峯 亨



一般社団法人言語処理学会 監事

江原 暉将



2017年 2 月 16 日

監査報告書

2017 年 2 月 16 日

一般社団法人 言語処理学会

会 長 徳 永 健 伸 殿

一般社団法人 言語処理学会

監 事 赤 峯 亨 

監 事 江 原 暉 将 

私たちは2016年1月1日から2016年12月31日までの2016年度における
一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査
手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の
閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、
法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

第3号報告

2017 年度事業計画

1. 運営・活動方針

2017 年度は、論文誌「自然言語処理」の発行・年次大会の開催等の学会が行う事業については、これまでと同等以上のメリットを会員が受けることができるよう、言語処理学会の設立の目的を尊重しつつ進めてまいります。

これらの論文誌や年次大会で発表される研究を広く内外に流通させるために、会員の研究発表を支援することも本学会の重要な役割と考え、活動を進めてまいります。まず、若手研究者による研究発表を支援する活動をおこないます。さらに、アジア・太平洋地域の関連学会の連合組織 AFNLP の活動への協力に加え、昨年、本学会も共催し、大阪で開催されました言語処理分野の主要国際会議である COLING を主催している ICCL (International Committee on Computational Linguistics)と協力して、国際論文誌の発刊のための準備を進めていきます。

2. 会誌の発行

- ・ 第 24 巻第 1 号 (2017 年 2 月中旬発行予定, 通巻 109 号)
 - ・ 第 24 巻第 2 号 (2017 年 3 月中旬発行予定, 通巻 110 号)
 - ・ 第 24 巻第 3 号 (2017 年 6 月中旬発行予定, 通巻 111 号)
 - ・ 第 24 巻第 4 号 (2017 年 9 月中旬発行予定, 通巻 112 号)
 - ・ 第 24 巻第 5 号 (2017 年 12 月中旬発行予定, 通巻 113 号)
- 第 1 号は「言語処理の応用システム」特集号となります。

3. 第 23 回年次大会の開催

日時: 2017 年 3 月 13 日(月)～3 月 17 日(金)

会場: 筑波大学 筑波キャンパス 春日エリア

3 月 13 日(月) チュートリアル

3 月 14 日(火) 本会議 第 1 日

オープニング

招待講演

3 月 15 日(水) 本会議 第 2 日

招待論文

懇親会

3 月 16 日(木) 本会議 第 3 日

招待講演

クロージング

3 月 17 日(金) ワークショップ

特別ワークショップ「言語処理の応用」

4. ニュースレターの発行

原則として、前年と同様の回数と内容で発行予定です。学会のメーリングリストを通じて配布します。これらは、学会のホームページにバックナンバーとして公開します。

5. 会議

◇社員総会

2017 年 3 月の年次大会に併せて、2017 年度第 1 回会合を開催します。予算・決算、学会全体の活動の活性化に向けた施策、関連する研究分野との交流の促進などについて審議、承認します。

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します。論文等の電子的公開、年次大会の開催、他学会との連携などについて審議します。

◇編集委員会

編集委員会は、メールによる審議をベースとし、これまで通りの効率的な運営に努めます。会誌をより活性化し、会員にとってさらに魅力的なものとするために、論文の投稿促進施策や、新たなコンテンツの企画などを継

続的に検討します。

6. その他

学会出版企画として、「実践・自然言語処理シリーズ」全 10 巻の刊行を開始します。

第4号報告

一般社団法人言語処理学会 予算書（案）

決算予測：2016年1月1日から2016年12月31日まで（12月16日時点）

科 目	2016予算額	2016決算予測	2017予算額	備考
(1) 経常収益				
受取会費	[7,130,000]	[7,596,000]	[7,590,000]	
正会員受取会費	(5,800,000)	(6,016,000)	(6,008,000)	
正会員当年度	5,800,000	5,896,000	5,888,000	@8,000円×736名(2016年度736名)
正会員過年度	0	120,000	120,000	@8,000円×15名(2016年度15名)
学生会員受取会費	(280,000)	(270,000)	(272,000)	
学生会員当年度	280,000	264,000	264,000	@4,000円×66名(2016年度66名)
学生会員過年度	0	6,000	8,000	@4,000円×2名(2016年度@4000円×1名、@2,000円×1名)
賛助会員受取会費	(600,000)	(850,000)	(850,000)	
賛助会員当年度	600,000	850,000	850,000	1口50,000円×17口(2016年度17口)
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(450,000)	(460,000)	(460,000)	
450,000	0	460,000	460,000	10,000円×46件(2016年度46件)
事業収益	[9,959,000]	[14,717,321]	[12,224,000]	
学術研究事業(年次大会)	(7,734,000)	(12,651,321)	(9,999,000)	
年次大会参加費	4,030,000	5,170,000	5,515,000	
年次大会懇親会費	924,000	1,312,000	1,084,000	
年次大会協賛・広告	2,600,000	5,909,321	3,400,000	
年次大会助成・補助	180,000	260,000	0	
年次大会収益	0	0	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,225,000)	(2,066,000)	(2,225,000)	
論文誌広告料	100,000	120,000	100,000	
別刷代	2,125,000	1,940,000	2,125,000	85,000円×25本
雑誌頒布収益	0	6,000	0	
国際会議寄付金				COLING2016黒字なら計上
受取補助金等		[4,950,000]		
国際会議補助金		4,950,000		
雑収益	[3,000]	[16,862]	[1,500]	
受取利息	3,000	1,694	1,500	
雑収益	0	15,168	0	
経常収益計	17,092,000	27,280,183	19,815,500	
(2) 経常費用				
事業費	[17,006,636]	[18,858,300]	[13,485,281]	
年次大会開催費	(6,696,636)	(8,338,424)	(7,035,281)	
年次大会運営サポート費	1,249,538	1,277,456	1,305,374	
受付代行費	1,032,298	1,133,419	1,058,587	
資料作成費(印刷費)	400,000	409,871	410,000	
コンファレンスバック代	170,000	187,596	190,000	
プログラム委員会費	248,000	264,064	408,000	
年次大会会場費	908,300	1,501,776	786,120	
年次大会人件費	800,000	732,000	800,000	
年次大会講師謝金等	300,000	422,752	300,000	
論文賞招待旅費	100,000	45,776	100,000	
代議員会等会議費	140,000	111,900	140,000	
表彰関係費	200,000	221,429	230,000	
年次大会懇親会費	1,088,500	2,003,845	1,297,200	評議員会、スポンサー朝食会 優秀賞・奨励賞の賞金+賞状等
実施委員会費	50,000	0	0	
年次大会雑費	10,000	26,540	10,000	
普及啓発事業	(10,310,000)	(10,519,876)	(6,450,000)	
論文誌印刷費	2,500,000	2,263,096	2,500,000	
論文誌通信運搬費	700,000	665,776	700,000	
論文誌編集費	1,500,000	1,250,424	1,500,000	
論文誌電子化費用	110,000	90,180	110,000	
編集委員会費	390,000	248,202	390,000	
編集事務局費	400,000	404,914	490,000	会合費、旅費、他 編集事務局給与・旅費
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	207,111	210,000	
論文誌活性化支援	200,000	3,630	200,000	
表彰関係費	150,000	194,663	150,000	英文校正等の国際化支援 論文誌の優秀賞の賞金+賞状等、 COLING2016論文賞\$500(\$1=104円で算出)
若手研究者等の支援	100,000	100,000	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	4,000,000	4,983,240	0	遅くとも2017年1月末には確定
普及啓発事業雑費	50,000	108,640	100,000	IMT分担金等・NTCIR協賛
管理費	[3,547,700]	[3,305,394]	[3,480,800]	
法人設立費用	(0)	(0)	(0)	
代議員選挙費用	(0)	(0)	(120,000)	新設：2017年度以降、2年ごとに必要
総務事務局費	(100,000)	(90,489)	(100,000)	総務事務局給与・旅費
業務委託費	(2,655,200)	(2,662,132)	(2,570,800)	
学会事務委託費	2,170,000	2,170,800	2,170,800	中西印刷(株)委託費(2017年2,170,800円)
税理士報酬	400,000	399,600	400,000	2015年は法人化により決算が2回必要(+10万円)
司法書士報酬	85,200	91,732	0	理事の変更のため登記が必要、約10万円、2年ごとに必要
会費集金費	(400,000)	(359,640)	(400,000)	封筒代5万円を含む
通信運搬費	(100,000)	(46,142)	(100,000)	
租税公課	(52,500)	(52,500)	(70,000)	法人市民税5万円・法人府民税2万円
振込手数料	(40,000)	(43,544)	(40,000)	(COLING2016論文賞振込手数料含む)
HP関連経費	(100,000)	(41,932)	(50,000)	実績に基づいて減額(-5万円)
雑費	(100,000)	(9,015)	(150,000)	理事会旅費など(+5万円)
経常費用計	20,554,336	22,163,694	16,966,081	
当期経常収支差額	-3,462,336	5,116,489	2,849,419	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-3,462,336	5,116,489	2,849,419	
一般正味財産期首残高	19,219,606	19,219,606	24,336,095	
一般正味財産期末残高	15,757,270	24,336,095	27,185,514	

第5号報告

2017 年度代議員構成

2014－2017 年度代議員		2016－2019 年度代議員	
秋葉 友良	豊橋技術科学大学	阿辺川 武	国立情報学研究所
石川 開	NEC	出羽 達也	(株)東芝
内山 将夫	情報通信研究機構	岩倉 友哉	(株)富士通研究所
大熊 智子	富士ゼロックス	内山 清子	湘南工科大学
渋谷 英潔	横浜国立大学	呉 鍾勲	情報通信研究機構
建石 由佳	国立情報学研究所	後藤 功雄	NHK 放送技術研究所
塚田 元	豊橋技術科学大学	小林 義行	(株)日立製作所
坪井 祐太	日本アイ・ビー・エム株式会社	小町 守	首都大学東京
鶴岡 慶雅	東京大学	相良 美織	株式会社バオバブ
徳久 雅人	鳥取大学	高梨 克也	京都大学
丸山 岳彦	国立国語研究所	高村 大也	東京工業大学
森 信介	京都大学	土屋 雅稔	豊橋技術科学大学
森元 逞	福岡大学	西川 仁	東京工業大学
山口 昌也	国立国語研究所	橋本 泰一	LINE 株式会社
吉田 稔	徳島大学	東中 竜一郎	日本電信電話株式会社
吉村 賢治	福岡大学	村田 稔樹	沖電気工業株式会社
ジェプカ ラファウ	北海道大学		
計17名		計16名	